

自立活動「ICT を活用して誰とでも会話」学習指導略案

1 対象

高等部（自立活動）

2 指導の形態

通常教室（スライドと YouTube 映る教室が望ましい。人数に合わせて特別教室にて実施）

3 指導の目的（必要に応じて、個人の目標も設定）

- 1) ろう者のコミュニケーション方法は何か考える。
- 2) ろう者のコミュニケーションツールを知る。
- 3) コミュニケーションツールの活用方法や今後期待できる ICT 機器について知る。

4 指導にあたって（単元・題材の構成について）※箇条書きでも可

- ・最新の ICT については、まだ未完成であることを注意する。
- ・映像は英語なので、訳を教員が伝えられるとよい。

5 本時の展開

過程	学習活動	指導・支援内容（留意事項及び配慮事項）	評価の観点
導入 5分	普段のコミュニケーションはどうしているのか考えさせる。	普段、自分たちがコミュニケーションをとるときにどのような方法（道具）を用いているのか考える。 ・補聴器の活用 ・人工内耳 ・口話（読話） ・筆談 ・手話 [スライド1]	自分自身の考えを提示できるか。 【興味関心態度】
展開 40分	様々なコミュニケーションツールがあることを知る。	生徒から出た意見でスライドの活用 ・手話 ・筆談 ・口話（読話） ・UD トーク（携帯電話の活用） [スライド2－5]	
	コミュニケーションツールの活用方法を話し合う。	グループを作り、コミュニケーションツールの特徴を考える。 [スライド6] ワークシート（1）	自分の意見を伝えるだけでなく、相手の意見も聞き考えようとしているか。 【思考判断技能・表現】
まとめ 5分	今後の ICT の活用を考える。	それぞれのメリット、デメリットを考える。 [スライド7] ワークシート（2） 最新の ICT 機器の紹介。 様々な研究があり、コミュニケーションツールが増えていくことを伝える。 [スライド8－10] ワークシート（3） SignAll MoguraVR news SAPPORO AI LAB SAPPORO AI LAB（札幌 AI ラボ） SignAll (YouTube) MoguraVR news (YouTube)	自分の考えをまとめられるか。取組み状況を観察する。 【思考判断・知識理解】

※特筆すべき留意事項

6 参考・引用文献または Web サイト

MoguraVR news <https://youtu.be/NfleM2VkRbw>

Introduction to project SignAll https://youtu.be/_2JztyH_OZA

作成：平石量子、2019 年

編集：ろう者学教育コンテンツ開発取組担当